

# 日本水泳連盟「薬の相談窓口」集計報告(2021年)

2022年5月

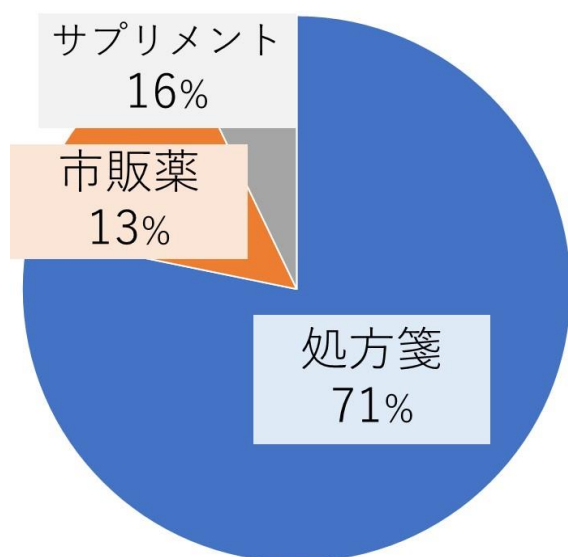
日本水泳連盟アンチ・ドーピング委員会  
スポーツファーマシスト

2021年に日本水泳連盟ホームページ内の「薬の相談窓口」で受けた問い合わせ件数とその内訳を報告する。2021年より、薬の相談窓口をリニューアルし、競技者のカテゴリや写真の添付ができるようになった。

※カテゴリA：FINAによって指定され、ADAMSで居場所情報を提供している競技者。国際競技大会に出場する競技者。

※カテゴリB：JADAによって指定され、ADAMSで居場所情報を提供している競技者。又は、JADAが定める国内大会（TUE事前申請対象大会）に出場する競技者。（日本水泳連盟HPのTUEガイド参照）

※カテゴリC：カテゴリAおよびBに該当しない全競技者（「分からない」含む）



問い合わせ件数	: 126件
問い合わせ商品数	: 250品目
処方箋医薬品	: 176品目
市販薬	: 33品目
サプリメント	: 41品目

全250品目のうち17品目（7%）に禁止物質が含まれていた。漢方やサプリメントなど、明らかな禁止物質は含まないが自己責任での服用（推奨せず）と回答したものは56品目（22%）であった。

今後も「薬の相談窓口」を活用したスポーツファーマシスト活動における注意喚起が重要である。

なお、2022年1月～3月で56件の回答のうち、カテゴリAからの問い合わせは4件、カテゴリBからの問い合わせは8件であった。カテゴリに応じたより細かなアドバイスが可能になっている。

